

秋&紅葉真っ盛りの 面河溪で Let'sアウトキング!

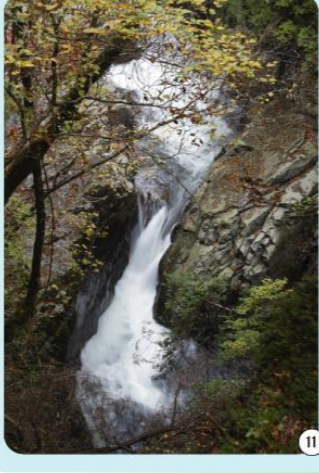
面河溪の紅葉は10月下旬から始まり、11月初旬にピークを迎えます。天候にもよりますが、11月中旬を過ぎると見頃を終えます。本流面河川沿いの巨木や深淵、滝、支流鉄砲石川沿いの奇岩、そしてカエデ類やシロモジ、シデ類などの紅葉、これらの織り成す景観は幻想的で美しく、「天下ノ絶景」と評されたほどです。時期や時間帯によって様々な表情を見せる面河溪の秋をお楽しみください。

家族みんなで楽しく汗を流そう!



コース 3→4

『白と青と紅葉を満喫するコース』(往復60分)
滑らかな花崗岩の白、そして深さによって違う水の青。面河溪の紅葉を代表するのが亀腹前から歩いて10分の紅葉河原です(写真9)。特にシトシとした雨が降った後は紅葉が映えます。沢沿いにはモミジハグマやシラヒゲソウ(写真10)の群落も見られます。第2キャンプ場を過ぎたら急流が流れ込む下熊淵(写真11)と上熊淵。あまりの深さに水は黒々としています。



コース 1→2

『面河溪の入口、関門の紅葉を味わうお手軽コース』(往復30分)

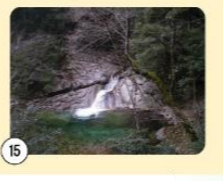
まずは博物館駐車場から川沿いをのぞいてみましょう。青石(塩基性緑色片岩)と透明度の高い川の水、そして鮮やかな紅葉が出迎えてくれます(写真2)。徒歩5分で錦木の滝。ここからは垂直の断崖絶壁が続きます。まるで山水画のような風景に華やかな赤や黄色が映えます(写真3)。11月初旬、通天橋の周囲の紅葉は素晴らしい!お見逃しなく(写真4)。復路は車に気をつけながら、小さなトンネル3つを越えて博物館まで戻ります。



コース 3→6

『面河溪の醍醐味、奇岩を巡るコース』(45分)

国民舎の裏から鉄砲石川遊歩道を歩きます。花崗岩をくりぬいたトンネルを抜けると目の前に見えるのは「櫃の底」と呼ばれる広い淵(写真15)。キャンプ場を過ぎると岩壁の様子が一变します。花崗岩の節理がつくり出したお月岩、兜岩(写真16)、鎧岩など、このルートでは変わった石の姿を楽しめます。水量が多いときは布を敷いたような流れになる「布引の滝」で折り返します。



面河山岳博物館へようこそ!

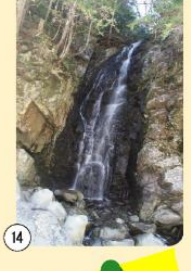
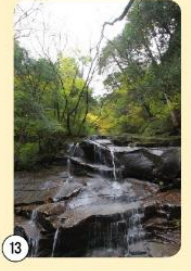
面河溪の紅葉情報は博物館に聞いてみましょう。色づき具合や見所などを紹介します。秋の企画展もお楽しみに。
○電話: 0892-58-2130
○開館時間: 9時半~17時
○休館日: 月曜日、祝日の翌日(12~3月は土日祝)
○入館料: 一般300円、小中学生150円 ※夏季は特別料金の場合あり



コース 3→5

『秘境、奥面河の滝を巡るコース』(2時間)

石鎚登山道入口を越えるとすぐ熊淵橋。橋の上流も下流も絶好の撮影ポイントです。さらに進むと虎ヶ滝が目の前に(写真12)。岩肌に取りつけられた「苔の栈道」を越えると、右に九天の滝(写真13)、左に霧ヶ迫滝(写真14)が続きます。しばらく進むと行き止まり。これより先は道がはっきりしませんので引き返しましょう。



ご注意! 装備を整えよう

『色とりどりの広葉樹に出会う、面河溪の導入コース』(往復60分)

博物館から関門遊歩道もしくは車道脇を15分歩くと通天橋。ここから面河溪中心部の五色河原まではさらに15分です。高さ30mを越すトチノキの巨木の下にはたくさんの実が転がっていることも。シロモジの黄色(写真5)、メグスリノキの紫(写真6)、シラキのオレンジ(写真7)、イロハモミジの赤など道沿いは色鮮やか。折り返しの五色河原、亀腹ではお弁当を広げても最高です!(写真8)



↓至美川・久万 石鎚スカイライン入口

面河溪観光の連絡先一覧

| | | |
|--------------|----------------|------------------|
| 面河山岳博物館 | 久万高原町若山650-1 | Tel.0892-58-2130 |
| 久万高原町役場 | 久万高原町久万212 | Tel.0892-21-1111 |
| 久万高原町役場面河支所 | 久万高原町洗草2431 | Tel.0892-58-2111 |
| 久万高原警察署 | 久万高原町久万542-4 | Tel.0892-21-0110 |
| 久万高原町消防署美川支所 | 久万高原町上黒岩2923-1 | Tel.0892-56-0303 |
| 国民舎面河 | 久万高原町 面河溪内 | Tel.0892-58-2211 |
| 溪泉亭 | 久万高原町 面河溪内 | Tel.0892-58-2511 |